

JF-IETF-RFC2597
AF 型ホップ単位動作グループ

〔 Assured Forwarding PHB Group 〕

第 1 版

2010 年 5 月 26 日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

-目次-

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等の関連

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC2597に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1 オプション選択項目

特になし

2.2 ナショナルマター項目

特になし

2.3 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1.0版	2010年5月26日	制定

4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページで御覧になれます。

5. その他

(1) 参照する主な勧告，標準

IETF RFC: RFC2475, RFC2119, RFC2474

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。具体的な規定は RFC を参照する必要がある。

6. 標準策定部門

NGN アーキテクチャ専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、DiffServ(DS)において、相対優先転送 (AF) と呼ばれるホップ単位動作 (PHB) グループを定義する。この AF PHB グループでは IP パケットの転送を 4 つの独立した AF 転送クラスで提供する。各 AF クラスでは、IP パケットは 3 つの異なるレベルの廃棄優先度のうちの 하나가割り当てられる。DS ノードは同じマイクロフローの IP パケットが同一の AF クラスに属している場合には、これを変更してはならない。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の RFC による。

IETF RFC2597: "Assured Forwarding PHB Group"